

資料4 片貝川水系流域治水プロジェクト 更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、片貝川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和44年8月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



- 片貝川水系では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。

【短期】流下能力不足解消のため、片貝川、布施川の整備を実施する。

布施川ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。

【中期】布施川の中陣橋の架替によるボトルネック部の解消する。

【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。

- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	片貝川および布施川の整備（河床掘削、堤防整備、橋梁架替、頭首工改修等）	富山県	河川改修により流下能力の増		
	布施川ダムにおける事前放流の実施	富山県	橋梁掛替によりボトルネック部の解消		
	砂防関係施設の整備	富山県			
	森林整備・治山対策	富山森林管理署 富山水源林整備事務所 富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組（防災指針策定など）	魚津市 黒部市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 魚津市 黒部市 住民			
	水位計・監視カメラの活用	富山県	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		

【事業費（R6年度以降の残事業費）】

- 河川対策
全体事業費 32.4億円※
片貝川の整備 等
- 砂防対策
砂防堰堤、擁壁工 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を
踏まえた
さらなる対策を
推進

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(堤防整備 護岸工)		
事業・施策の名称	河川改修(堤防整備 護岸工)		
実施場所	片貝川流域(黒谷地区)		

【対策概要】

片貝川水系片貝川は、全国屈指の急流荒廃河川であり、昭和44年の集中豪雨による出水では、甚大な被害が発生した。このため、平成14年度から河川改修による浸水被害の解消を図っている。

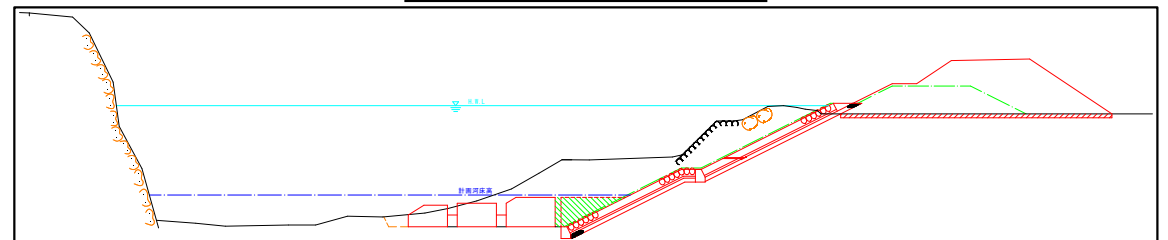
【事業内容】

事業期間：平成14年～

内 容：計画延長3,100m（河床掘削、堤防整備（護岸工）、橋梁架替、用地補償）



片貝川(東蔵工区)の整備



(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(堤防整備 護岸工)		
事業・施策の名称	河川改修(堤防整備 護岸工)		
実施場所	布施川流域(田家～東布施地区)		

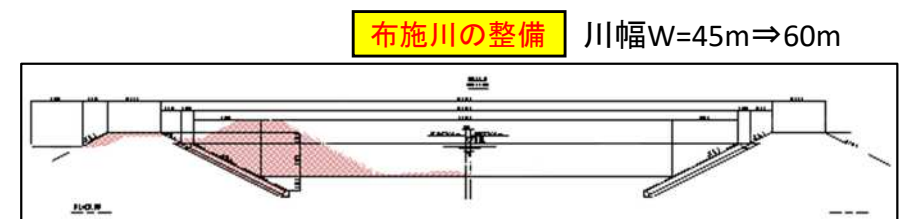
【対策概要】

片貝川水系布施川は、平成10年8月13日の集中豪雨による洪水で護岸が欠損する被害が発生した。これまでに片貝川との合流点から北陸自動車道下流までの整備を進めてきており、引き続き上流に向けて布施川の整備を進め、浸水被害の解消を図る。

【事業内容】

事業期間：昭和36年～

内 容：計画延長5,454m（河床掘削、堤防整備（護岸工）、橋梁架替、用地補償）



(様式: 取組事例)

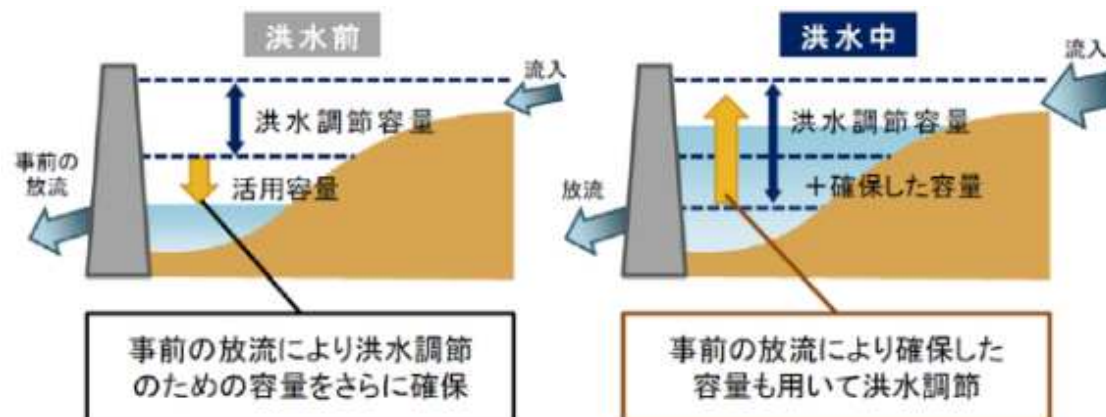
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	布施川ダムにおける事前放流(実施)		
事業・施策の名称	布施川ダムにおける事前放流(実施)		
実施場所	黒部市 布施川ダム		

【対策概要】

布施川ダムにおける事前放流等の実施等



緊急時において既存ダムの利水容量を洪水調節に最大限活用し、ダム下流の氾濫被害の軽減及び避難時間をかせぐ



布施川ダムは、片貝川水系布施川の黒部市福平地先に、洪水調節・既得取水の安定化及び河川環境の保全・消流雪用水の確保を目的とする多目的ダムとして平成4年に完成しました。

目的	F,N,Es	ダム型式	ロックフィルダム
集水面積	13.0km ²	湛水面積	0.10km ²
ダム高	58.5m	総貯水容量	1,350千m ³

(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	砂防関係施設の整備		
事業・施策の名称	砂防関係事業		
実施場所	片貝川・布施川流域		

【対策概要】

土砂災害から暮らしを守る砂防関係施設を整備します。

土石流災害を防ぐ

砂防事業



- ・砂防堰堤
- ・土砂洪水氾濫対策 等

がけ崩れを防ぐ

急傾斜地崩壊対策事業



- ・擁壁工 等



(様式:取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山森林管理署
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)国有林内		
実施場所	片貝川・布施川流域		

【対策概要】

森林の有する水源涵養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図り、流域治水対策を推進します。
 このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した
 荒廃地・荒廃森林については機動的・計画的に治山対策を実施します。

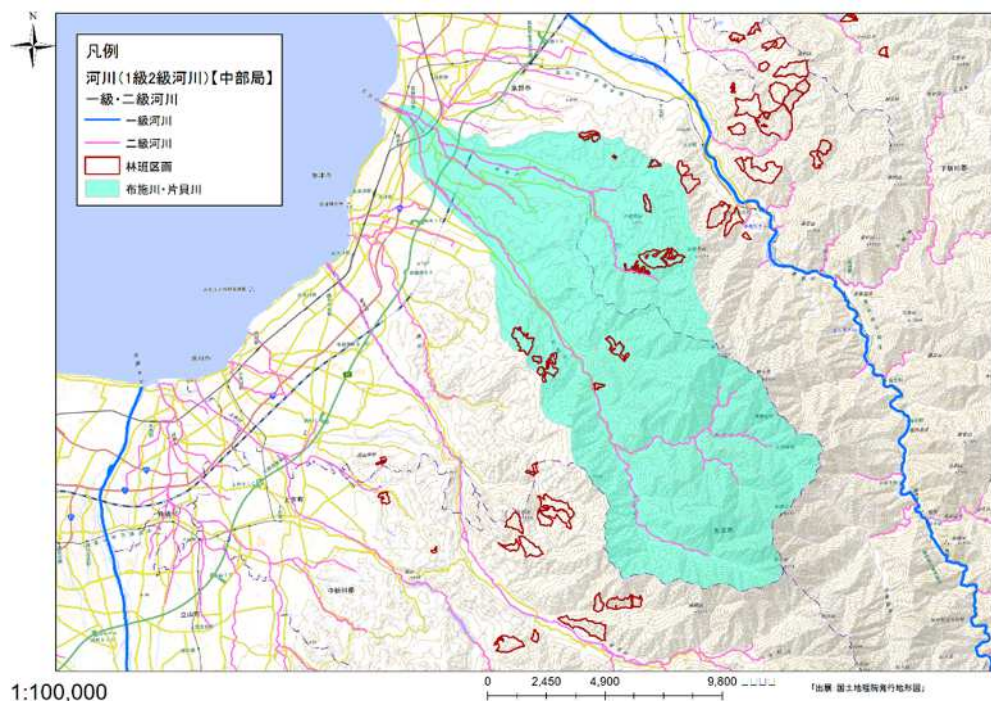


(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山水源林整備事務所
メニュー名	森林整備		
事業・施策の名称	森林整備(除間伐等)民有林保安林内		
実施場所	片貝川・布施川流域		

【対策概要】

- ・ 除間伐等の森林整備を実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 水源林造成事業地は、片貝川流域に11箇所（森林面積 約200ha）があり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施します。



水源林の整備



針広混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



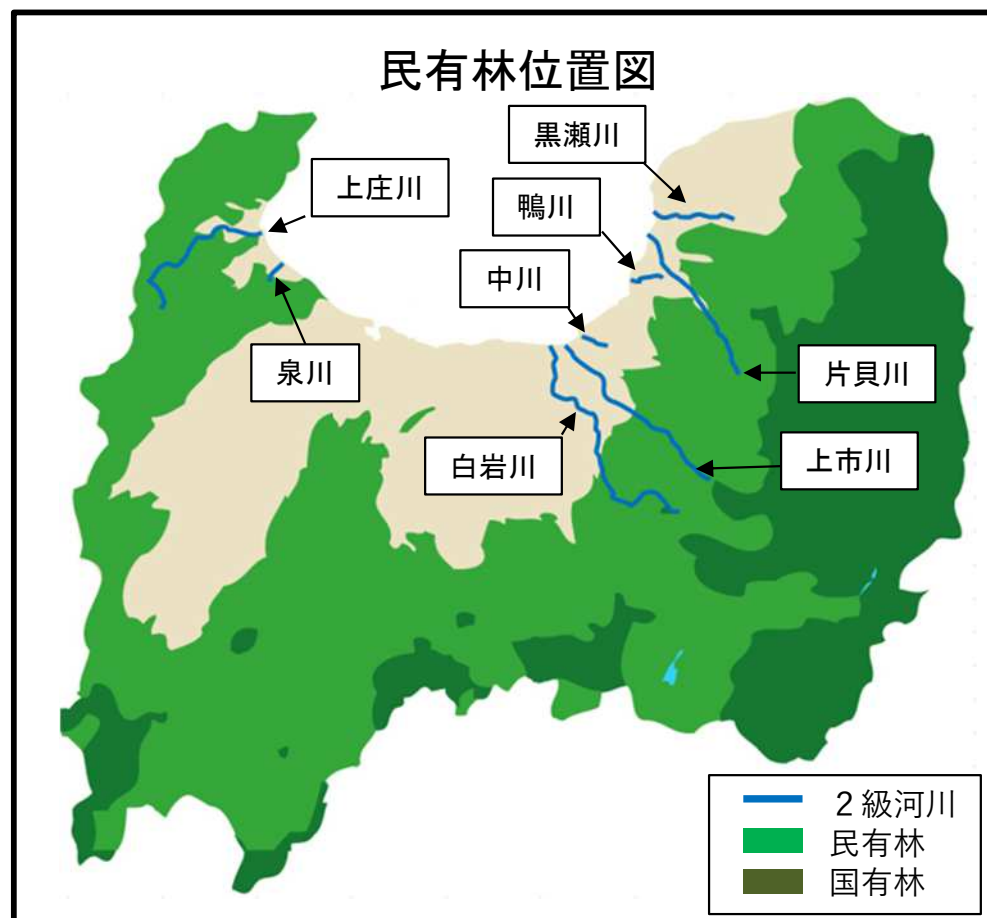
間伐実施後

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	片貝川・布施川流域		

【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備（間伐等）や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



森林の整備

間伐

(事例) 魚津市東城地内

治山施設の設置

流木捕捉式治山ダム

(事例) 南砺市大鋸屋地内



(様式:取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	魚津市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	片貝川流域(支川も含む)		

【対策概要】

「安全なまちづくり」に向け、立地適正化計画への防災指針の記載と取組みなどを行う



(様式: 取組事例)

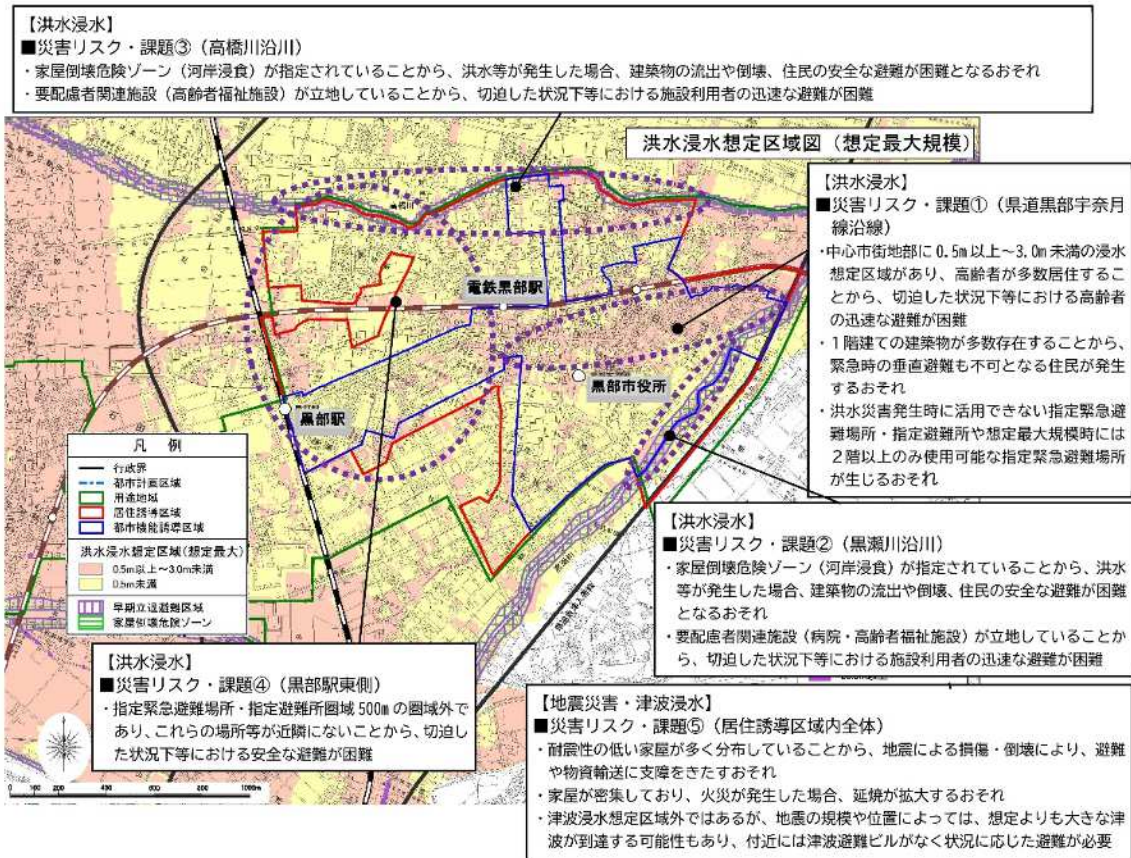
区分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	片貝川流域(支川も含む)		

【対策概要】

「安全なまちづくり」に向け、令和6年3月に立地適正化計画への防災指針の追加を行いました。

■主な災害リスクと課題の整理

災害リスクの重ね合わせ分析を踏まえ、災害リスクの高いエリアを抽出し、各エリアにおける主な災害リスクと課題を以下に示します。



■具体的な取組

課題解決に向けた防災・減災対策の具体的な取組として、ハード・ソフトの両面から災害リスクの低減に必要な取組を設定します。

取組方針	具体的な取組	実施主体	実施時期		
			5年	10年	20年
リスク低減（ハード）	市街地整備事業	土地区画整理事業の推進	市	→	
	河川事業	河川改修事業の促進、霞堤の保全※1	国・県・市	→	→
	砂防事業	黒部川上流域などの崩壊対策事業の促進	国・県・市	→	→
	森林整備事業	森林施業・治山工事の推進	県・市	→	→
リスク低減（ソフト）	総合的な都市計画策定とまちづくり	家屋倒壊危険ゾーンの取扱い検討	市	→	
	住環境整備事業	建築物の耐震化への支援・不燃化の促進	市	→	→
	防災対策事業	地域防災体制及び防災基盤の整備推進	市	→	→
		自主防災組織の育成支援	県・市・その他	→	→
		防災情報システムの充実	市	→	→
		災害に対する意識啓発活動の推進	市	→	→

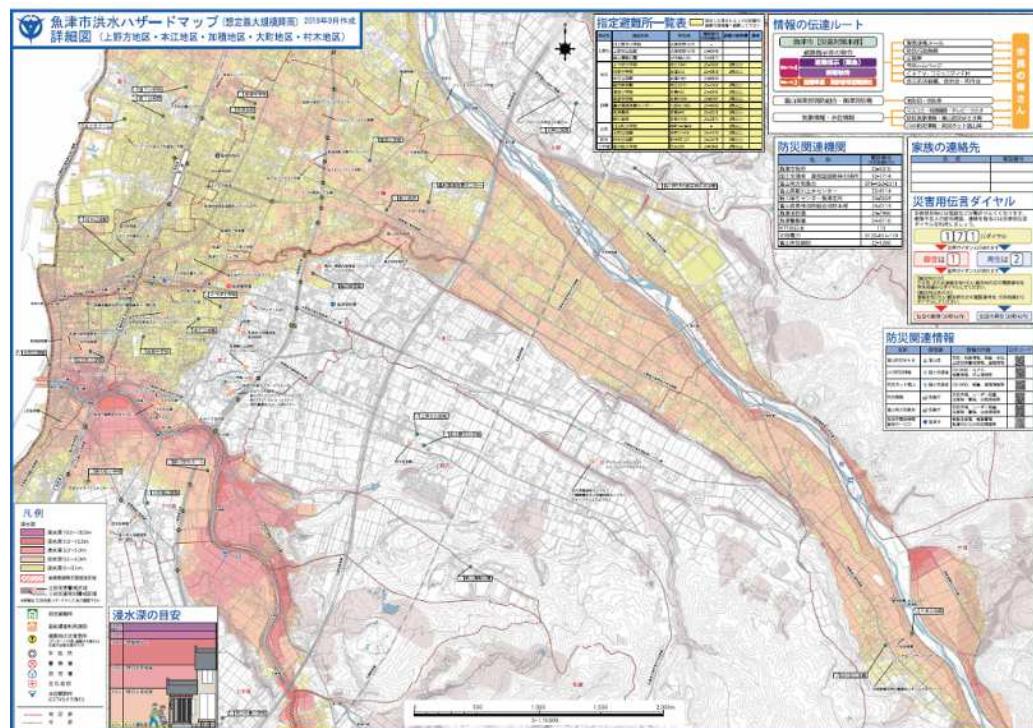
※1 霞堤は氾濫水を河道に戻す、氾濫拡大を防ぐ機能が期待されるが、霞堤内の盛土や工作物により機能を阻害する可能性があることから、霞堤の機能を保全するため土地利用のルールについて検討が必要

(様式: 取組事例)

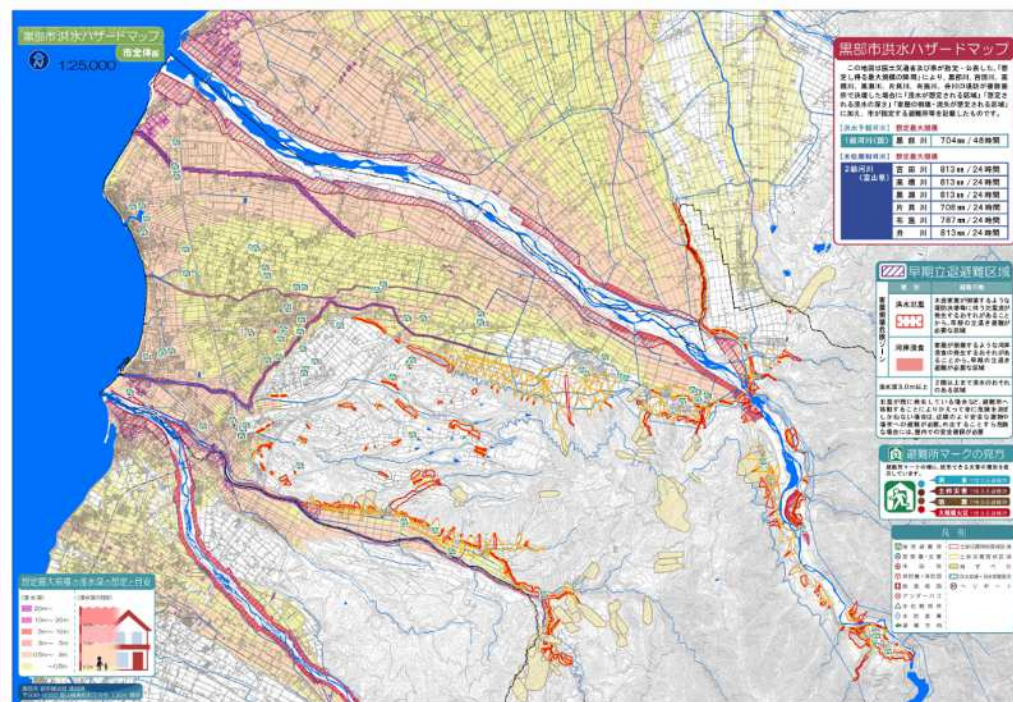
区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、魚津市、黒部市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	片貝川流域(支川も含む)		

令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。



魚津市洪水ハザードマップ(想定最大規模)



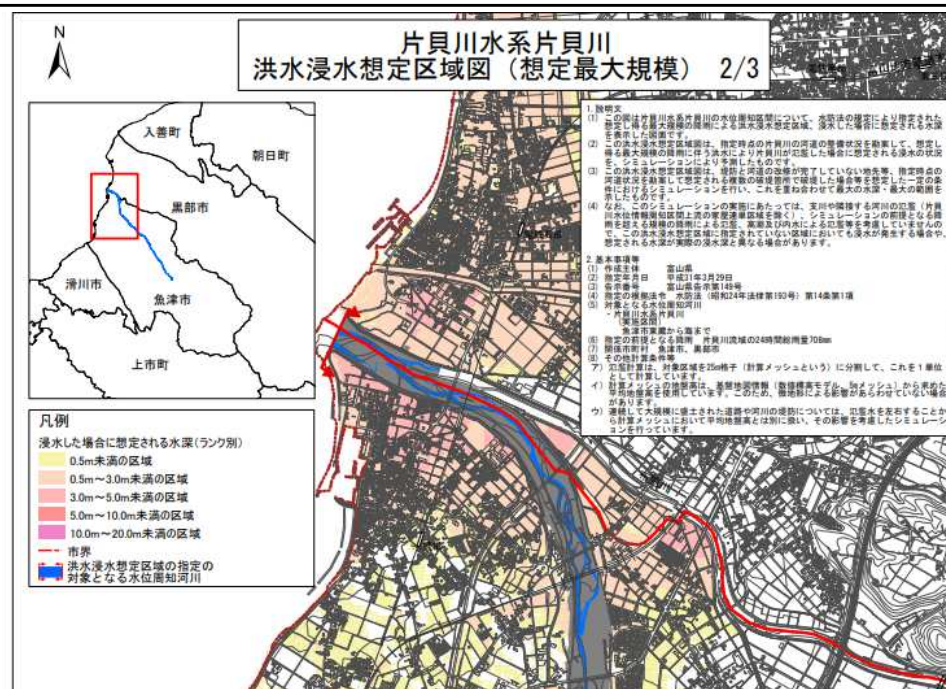
黒部市洪水ハザードマップ(想定最大規模)

(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、魚津市、黒部市
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成
実施場所	片貝川支流の県管理河川

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。片貝川支流の県管理河川についても、令和7年度の出水期前までに洪水浸水想定区域図を作成することを目標に取り組んでいます。

【取組実績】令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施
令和6年度 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施



参考例: 片貝川(本川)(水位周知河川)洪水浸水想定図(想定最大規模)



片貝川支流の河川 (例: 田糲川)

(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日: 平成30年6月～【R4.3月リニューアル、R5.3月改修(危機管理型水位計のリアルタイムデータが閲覧可)、R6.6月改修(ダム貯水位の確認可※外部リンク、10分更新)】
- ・ 公開の内容: 河川海岸カメラ画像情報(静止画: 5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP: 「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。

洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

【実施概要】・配信開始日: 令和6年6月21日

・配信の内容: 受け取りたい河川(46観測所)の水位(4段階)や、ダム(16箇所)の貯水位(3段階)の各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し
水位の基準値を
超えると

自動的にメールを配信

登録ユーザー

ダムの貯水位が
上昇し、基準値を
超えると

事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録
(〇〇観測所の〇〇水位)

自動的にメールを配信

配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氾濫危険水位 (レベル4) ・ 避難判断水位 (レベル3) ・ 氾濫注意水位 (レベル2) ・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が <ul style="list-style-type: none"> ・ 100%の貯水位 ・ 80%の貯水位 ・ 50%の貯水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

ダム貯水位

登録はこちら▶▶▶



以下URLからも登録可能です

<https://plus.sugumail.com/usr/toyama-pref/home>

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、魚津市、黒部市
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

【取組実績】

- ・令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・令和2年度：魚津市にて講習会
- ・令和3年度：富山市にて講習会
- ・令和4年度：富山市にて講習会
- ・県内の要配慮者利用施設1,660施設中1,519施設（91.5%）で計画を作成済み（R6.9.30時点）



講習会の様子 R4 富山市

[illegible]

簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式:取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	魚津市、住民
メニュー名	避難訓練への住民参加促進及び住民参加		
事業・施策の名称	自主防災組織による避難訓練の実施		
実施場所	地区自主防災組織(4地区)		

自主防災組織の結成以来、あらゆる災害を想定した訓練を実施してきた中、令和6年度は河川の氾濫水位に達し、避難指示が発令されたことを想定した避難所開設及び住民避難訓練を実施し、さらなる防災力の向上を図るもの。

【取組実績】

- ・ 実施地区：片貝地区、加積地区、経田地区、天神地区、魚津市防災士連絡協議会
- ・ 実施日：令和6年9月29日（日）ほか
- ・ 場 所：片貝コミュニティセンター、新川高校、経田小学校、天神コミュニティセンター
- ・ 内 容：避難所開設準備訓練、住民避難訓練、炊き出し訓練、防災講座、消火訓練



天神地区訓練状況

(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部市、住民
メニュー名	避難訓練への住民参加促進及び住民参加		
事業・施策の名称	自主防災組織による避難訓練の実施		
実施場所	地区自主防災組織		

自主防災組織の結成以来、様々な災害に備えた訓練を実施してきた中、避難指示が発令された場合の避難所開設及び住民避難訓練を実施するとともに、小型動力ポンプを使った消火等の訓練も実施し、防災力の向上を図った。

【取組実績】

- ・ 実施地区：東布施自主防災連絡協議会
- ・ 実施日：令和6年11月10日（日）
- ・ 場 所：東布施公民館
- ・ 内 容：避難所開設準備訓練、住民避難訓練、炊き出し訓練、資機材使用訓練

